

1

[千葉大]

双曲線 $x^2 - y^2 = 1$ ……①の漸近線 $y = x$ ……②上の点 $P_0 : (a_0, a_0)$ (ただし $a_0 > 0$) を通る双曲線①の接線を考え、接点を Q_1 とする。 Q_1 を通り漸近線②と垂直に交わる直線と、漸近線②との交点を $P_1 : (a_1, a_1)$ とする。次に P_1 を通る双曲線①の接線の接点を Q_2 , Q_2 を通り漸近線②と垂直に交わる直線と、漸近線②との交点を $P_2 : (a_2, a_2)$ とする。この手続きを繰り返して同様にして点 $P_n : (a_n, a_n)$, Q_n を定義していく。

- (1) Q_n の座標を a_n を用いて表せ。
- (2) a_n を a_0 を用いて表せ。
- (3) $\triangle P_n Q_n P_{n-1}$ の面積を求めよ。

1

[千葉大]

- (1) 双曲線 $x^2 - y^2 = 1$ ……①上の点 $Q_n(b_n, c_n)$, その漸近線 $y = x$ ……②上の点 $P_n(a_n, a_n)$ に対して,

$$b_n^2 - c_n^2 = 1, (b_n + c_n)(b_n - c_n) = 1 \dots\dots\dots③$$

点 Q_n を通り, 漸近線②に垂直な直線は,

$$x + y = b_n + c_n$$

この直線が $P_n(a_n, a_n)$ を通ることより,

$$2a_n = b_n + c_n \dots\dots\dots④$$

③④より, $b_n - c_n = \frac{1}{2a_n} \dots\dots\dots⑤$ となり, ④⑤から,

$$b_n = \frac{1}{2} \left(2a_n + \frac{1}{2a_n} \right) = a_n + \frac{1}{4a_n}, \quad c_n = \frac{1}{2} \left(2a_n - \frac{1}{2a_n} \right) = a_n - \frac{1}{4a_n}$$

よって, $Q_n \left(a_n + \frac{1}{4a_n}, a_n - \frac{1}{4a_n} \right)$ である。

- (2) 点 Q_n における①の接線は, (1)から, $\left(a_n + \frac{1}{4a_n} \right)x - \left(a_n - \frac{1}{4a_n} \right)y = 1$

この接線が点 $P_{n-1}(a_{n-1}, a_{n-1})$ を通るので,

$$\left(a_n + \frac{1}{4a_n} \right)a_{n-1} - \left(a_n - \frac{1}{4a_n} \right)a_{n-1} = 1, \quad \frac{1}{2a_n}a_{n-1} = 1$$

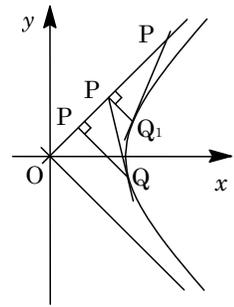
よって, $a_n = \frac{1}{2}a_{n-1}$ となり, $a_n = a_0 \left(\frac{1}{2} \right)^n$ である。

- (3) $\triangle P_n Q_n P_{n-1}$ は $\angle P_{n-1} P_n Q_n = 90^\circ$ の直角三角形であり,

$$P_{n-1} P_n = \sqrt{2} (a_{n-1} - a_n) = \sqrt{2} (2a_n - a_n) = \sqrt{2} a_n$$

$$P_n Q_n = \sqrt{\left(a_n + \frac{1}{4a_n} - a_n \right)^2 + \left(a_n - \frac{1}{4a_n} - a_n \right)^2} = \sqrt{\frac{1}{8a_n^2}} = \frac{1}{2\sqrt{2}a_n}$$

よって, $\triangle P_n Q_n P_{n-1} = \frac{1}{2} \cdot \sqrt{2} a_n \cdot \frac{1}{2\sqrt{2} a_n} = \frac{1}{4}$ である。



[解説]

漸化式 of 双曲線への応用問題です。煩わしい計算の多い 2 次曲線としては, 計算量は少なめです。